

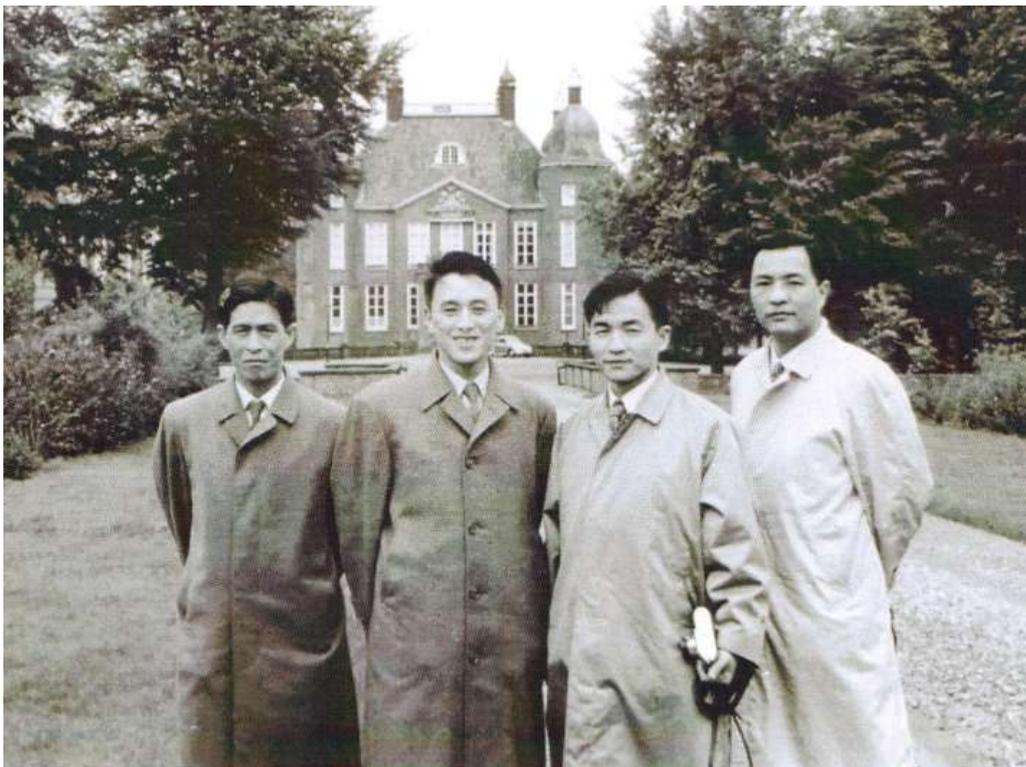
「北村和夫氏から社報をご寄贈いただきました♪」

今年 1 月に開催した本部・関東支部共催の新年会・長寿慶祝会に、白寿（九十九才）の北村和夫氏と鶴巻良輔氏が、お嬢様と一緒にご参加くださいました。



（左）北村和夫氏、（右）鶴巻良輔氏

お二人は共に大正 13 年 11 月のお生まれ、入社後、昭和 32 年には、一緒に半年間の海外研修へ出向かれ、帰国後は四日市製油所の建設をはじめ、数多くの苦楽を共にされたとお聞きしています。



（左から）齊藤弘氏、鶴巻良輔氏、北村和夫氏、別府晋氏

長寿慶祝会終了後、北村氏より、「昭和 26 年入社以降の社報があるが宜しければ寄贈したい」とのお話をいただき、わざわざ 3 月 18 日にお嬢様が社友会事務所へお届けくださいました。社友会事務局では、早速、誰もが容易に閲覧できるように、年代別にファイリングを行いました。



参考として、一番古い昭和 26 年 11 月 1 日号の社報の抜粋をご紹介します。

昭和26年11月1日(木曜日) 昭和石油株式会社社報第16号 (6)

第四回全昭和石油野球大会

川崎製油所A優勝

第四回全昭和石油野球大会
川崎勢に凱歌あがる

才四回全昭和石油野球大会は、昭和二十六年九月二十二、三、四の三日間東京都中央区浜町球場で十二チームの参加を得て小山社長始球のもと大会の幕を切つて落した。

正午前からの降雨で才二試合を完了せずして中止するの止むなきに至つたが、二十三、四の両日は快適の天候に恵まれて順調に試合を進め得て結局川崎Aチームの優勝する所となつた。

尚特別試合として、小山社長(IB) 早山専務(IB) 瀬脇企画部長(P) 岩木川崎製油所長(CF) 西宮旭加工専務(RF)の重役も加わる平均年齢四十六歳という本社OBチーム対元ブリュウバード女子職業チームの一戦を行つたが、15-6で娘子軍に凱歌あがる。

終つて船木東京営業所会計課長の指揮するバンドの奏樂裡に小山社長の閉会の挨拶、賞品の授与あつて無事本年大会を終了した。

参加チーム

新潟、平沢両製油所でも従業員数からすれば二チームは編成出来るし、特に新潟製油所は多士済々、A B両チームの出場希望もあつたかに仄聞するが、経費共他の都合で地元の本社と川崎製油所だけに二チームの参加を認めた。

本年は小樽製油所と空閑油槽所とで一チームを又名古屋出張所と油槽所とが大阪から分離して一チームを成の予定もあつたが断念して結局左記十二チームの参加をみた。

- 本社Aチーム
- 川崎製油所A
- 新潟製油所
- 海南製油所
- 彦島チーム(彦島グリーン工場、彦島油槽所、福岡出張所を含む)
- 大阪チーム(大阪営業所、北港、鶴町、名古屋三油槽所及名古屋出張所を含む)
- 鶴見グリーン工場
- 品川研究所
- 静岡井伊谷化学石灰工場は人員の漸減がチーム編成にこたへ昨年から不参加の予定である。
- 本社Bチーム
- 川崎製油所B
- 平沢製油所
- 関屋工場

海引チテ石
引分チ一石
いな

北村氏からご寄贈いただいた社報は次のとおりです。

(昭和石油 社報)

昭和 26 (1951) 年 11 月 (16 号) ~ 昭和 56 (1981) 年 8 月 (353 号)

(昭和シェル石油 社報)

昭和 60 (1985) 年 1 月 (1 号) ~ 平成 27 (2015) 年 10 月 (328 号)

お願い：

今回、昭和石油～昭和シェル石油の社報が概ね揃いましたが、次の2つについて、お持ちの方がおられましたら、ぜひ、ご寄贈ください。昭和シェル社友会の貴重な記録文書として保管し、有効に活用させて頂きたいと思えます。よろしくお願ひします。

- ① シェル石油の社報
- ② 昭和シェル石油の社報

329号（2015年11/12月）～349号（2019年3月）

改めて、貴重な社報をご寄贈いただいた北村和夫氏にこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。

（2025年6月10日）